

令和4年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 名草小 学校
校長氏名	伊澤 真佐子
作成日	令和 5年 3月 7日

1 教育目標

心豊かで、たくましく生きる子どもを育てる				
	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に取り組むことができた。(教師90%) ・わかる授業、子ども主体の授業を実践したと思う。(児童・教師90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいと感じる(児童90%) ・「小学校道徳 生きる力」「心のとびら」の活用(100%) ・いじめの解消率(100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ごはんを食べた。(児童100%) ・外遊びに積極的に取り組むことができた。(児童90%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子がよく伝わった。(保護者90%)
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎基本の確かな定着 ◎子ども主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ○仲間づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○危機回避能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携充実 ◎コミュニティースクールとして地域の資源活用の推進
取組の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・研究教科を算数に絞り研究授業を各学年で行い、思考力と表現力高めるための授業改善に取り組んだ。 ・学びタイムを検証し効果が出るように内容を校内で統一した。 ・学校司書の協力による図書室の整備や開放、内容の充実を図った。 ・学びタイムの金曜日に読書の時間を取った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての教科で人権の大切さを感じ取らせる指導をする。 ・「生きる力」「心のとびら」を活用し、『特別な教科道徳』の授業を行った。(100%) ・いじめアンケートを実施し、早期発見・早期対応に努め、気になる子どもについては聞き取り調査を行った。(解消率100%) ・情報モラルやネット社会に潜む危険について保護者と児童に学ぶ機会を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストのデータ分析を行い、心と身体の健康に生かす。 ・名草山を有効に使い、児童の運動能力の育成に努めた。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」を推進し、学校便り等で保護者に啓発を行った。 ・避難訓練や交通安全教室、不審者対応訓練を通して、危機回避能力を高めるように計画した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校便りを毎月地域に配布し、学校のホームページに活動の様子を挙げ発信した。 ・地域と育友会と教職員が避難路の整備を一緒に行った。 ・登下校時の見守りに地域の方も参加いただいている。
取組の成果と課題(評価結果)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は分かりやすい授業を工夫している。(84%保護者アンケート) ・学習内容が分かり、基礎的な学力が身についている。(84%保護者アンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しそうに登校している。(90%保護者アンケート) ・学校はいじめをなくす学校づくりに取り組んでいる。(65%保護者アンケート) ・学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を教育している。(78%保護者アンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、子どもの安全確保・健康管理のための取組を行っている。(65%保護者アンケート) ・学校施設は、教育的配慮がなされ、美しく使いやすい。(64%保護者アンケート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子を分かりやすく伝えている。(84%保護者アンケート) ・家庭・地域は学校に対して役割を果たし協力している。(80%保護者アンケート) ・こども総合支援センターやスクールソーシャルワーカーと連携し、児童の生活を改善するように努める。
改善方法(次年度に向けての)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿に目を向け、活動と理解を中心に据えた授業改善に取り組む。 ・和歌山市の客員指導主事の山本紀代先生を指導助言者として招聘する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な教科道徳を活用し、豊かな心の育成に努める。 ・いじめアンケートを学期に1度以上実施し、いじめの未然防止、早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」を徹底する。 ・体力向上のために、外遊びを積極的に取り入れる。 ・危機回避能力を高めるために、避難訓練を定期的に計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は各種たよりを定期的に発行するとともに、学校のホームページに学校の活動の様子を挙げ、取組や現状について発信を続ける。 ・コミュニティースクールとして地域の人材を活用し、学校の活性化を図る。

3 その他の課題

学校前の道路が狭いので、雨の日の送迎の車が多くなると、交通事故の心配があり、地域にも迷惑がかかることがある。警報が出たとき、道幅が狭いうえに、運動場の門が1つなので交通整理が教職員でできるのか心配である。